

湘南医療福祉専門学校での海上自衛隊衛生員の制度説明会初開催

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木 3 陸佐）は 2月20日（月）、横浜市に所在する湘南医療福祉専門学校での就職ガイダンスに参加した。

ガイダンスには自衛隊の他、神奈川県内の警察、消防、病院等 8 団体が参加し、救急救命科の学生 27 名が各ブースを巡回して説明を受けた。

自衛隊のブースでは横須賀病院教育部の教務課長と教官の 2 名が参加し、海上自衛隊衛生員の教育や活動概要等の説明を行った。なかでも制度ができて間もない『第一線救護衛生員』の概要説明には、生徒の関心が高く食い入るように聞き入っていた。

参加した学生からは「採用試験に関する質問」や「将来へリで救命活動を行うためには、どのようにキャリアアップをしていくのか」など、将来自衛官として活動するための具体的な質問も多く寄せられた。また、説明会終了後にも個別説明を希望する学生が複数名存在して、多くの学生に関心をもってもらえたようだった。

上大岡募集案内所では、「今後も学校との連携を深め、多くの生徒や教職員に自衛隊の魅力伝えていきたい」としている



中学生に対する職業講話を実施

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 田中 3 陸佐）は 3月14日（火）、横浜市立大綱中学校で開かれた『職業講話』において自衛隊の仕事について説明した。

コロナの影響により近年実施できていなかったが、当該中学校より生徒の進路指導の一環として自衛隊の仕事を知りたいとの要望を受け、今回 3 年ぶりの実施に至ったもので、自衛隊の仕事に興味を持つ 2 年生 32 名が 2 グループに分かれて参加した。

講話は所長による自衛隊の全般説明に始まり、制度説明や自身の災害派遣の体験などを話し、最後に「日本の平和と安全を守る自衛隊という職業があることを覚えてほしい」と述べた。

参加した生徒たちからは「自衛官を目指したきっかけは？」「やりがいは何ですか？」「自衛官になるために必要な資格はありますか」といった質問があり、積極的にメモを取りながら、一生懸命に聞く姿が見られた。

講話終了後は「自衛隊を身近に感じることができた」「色々な職種があることをはじめて知った」と言った声が聞かれた。

横浜出張所は「今後も積極的に各学校の職業講話等に協力し、自衛隊の仕事に対する理解を深めていきたい」としている。



所長による説明



職種の説明